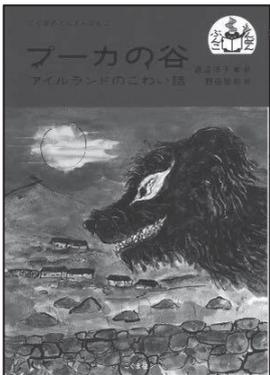


『プーカの谷 アイランドのこわい話』

わたなべ ようこ へん やく の だ ともひろ え
渡辺 洋子 編・訳 野田 智裕 絵
こぐま社



むかし、プーカとよばれるゆうれいが、すがたをかえてさまよっていた。

ある時、少年コノールは犬のすがたのプーカにであい…。

ほかに、「妖精にさらわれたむすめ」や「ふしぎないずみの話」など、ちょっとこわくてふしぎなお話のっています。

『にんぎょうの おいしゃさん』

マーガレット・ワイズ・ブラウン 作 J. P. ミラー 絵
 こみや ゆう 訳 PHP 研究所

ひげせんせいは、にんぎょうのおいしゃさん。けがやびょうきのにんぎょうたちによばれると、いそいでむかいます。ひげせんせいがくれば、もうだいじょうぶ。

しかし、ひげせんせいも かぜをひいてしまい、あわてたにんぎょうたちはみんなでかんぴょうをします。



このリストは、図書館の職員が、1・2年生のみなさんに読んでほしい本を選んだものです。

しながわとしょかん 品川図書館	きたしながわ 北品川 2-3 2-3	☎3471-4667
ふたばとしょかん 二葉図書館	ふたば 二葉 1-4-2 5	☎3782-2036
えばらとしょかん 荏原図書館	なかのぶ 中延 1-9-1 5	☎3784-2557
みなみおおいとしょかん 南大井図書館	みなみおおい 南大井 3-7-1 3	☎3761-6780
げんじまえとしょかん 源氏前図書館	なかのぶ 中延 4-1 4-1 7	☎3781-6273
ゆたかとしょかん ゆたか図書館	ゆたかちよう 豊町 1-1 7-7	☎3785-6677
おおいとしょかん 大井図書館	おおい 大井 5-1 9-1 4	☎3777-7151
ごたんだとしょかん 五反田図書館	にしごたんだ 西五反田 6-5-1	☎3492-2131
おおさきとしょかん 大崎図書館	きたしながわ 北品川 5-2-1	☎3440-5600
やしおとしょかん 八潮図書館	やしお 八潮 5-1 0-2 7	☎3799-1414
おおさきえきにしち 大崎駅西口 としとりつぎせつ 図書取次施設	おおさき 大崎 2-1 1-1 おおさき 大崎ウィズシティテラス 2階	☎5487-6551

きゅうかん(所)日、かいかん(所)時間などは、各図書館・取次施設におたずねください。

このリストの表紙絵使用は、各出版社の許諾を得ています。

2018 . 10発行

よんでみたいな！

ねんせい
1・2年生



『ツトムとネコのひのようじん』

にしかわ おさむ ぶん・え

こみねしよてん
小峰書店

しながわくりつとしょかん
品川区立図書館

『チューリップ』

あらい まき さく
しょうがくかん
小学館



はるに きれいにさく チューリップの きゅうこんを みたことがありますか。

あきにうえた きゅうこんは、つちのなかで ねをだし、ながいふゆを すごします。

つちのなか、そして きゅうこんのなかを のぞいてみましょう。

『きのうえの おうちへ ようこそ！』

ドロシア・ウォーレン・フォックス 作 おびか ゆうこ 訳

かいせいしゃ
偕成社

ひととあうのがにがてな ツイグリーさんは、きのうえのおうちで いぬとくらしている。

あるひ、おおきなあらしが おそい、まちは うみのように なってしまった。そこで まちのひとたちは ツイグリーさんの おうちを めざしていくが…。



『ロケット発射場の一日』



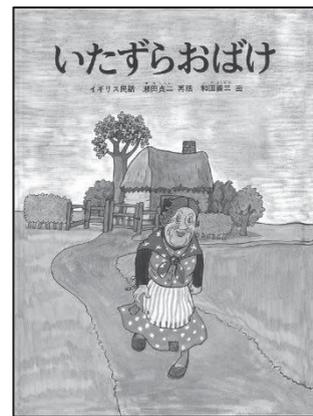
いわた 慎二郎 作・絵
講談社

きょうは「イプシロンロケット」打ち上げの日です。見学者もたくさんあつまってきました。

発射場では、たくさんの方がはたらいています。

他にも、ロケットのしくみや運び方、組み立て方から発射までを紹介しています。

『いたずらおばけ』



瀬田 貞二 再話
福音館書店

むかし あるところに、いつも げんきでようきにくらしている おばあさんがいました。あるばん、おばあさんはみちばたで しろいつぼをみつけます。なかには きんがぎっしりつまっていました。うれしくなったおばあさんは、つぼを もちかえろうとします。

しかし、つぼは つぎつぎに すがたをかえて…。

『ツトムとネコのひのようじん』



にしかわ おさむ ぶん・え
小峰書店

ツトムは、オカッパあたまのげんきなおとこのこです。

あるふゆのよる、「ひのよーじん、ニャーニャー」というこえがきこえてきました。ツトムがそとをみると、そこにはネコのぎょうれつ。するとネコたちは、いえのなかにはいつてきて…。

ほかにも、楽しいお話がいっぱい。

『ビーおばさんとおでかけ』

ダイアナ・ウィン・ジョーンズ 作
佐竹 美保 絵
徳間書店

ナンシー、サイモン、デビーの三人きょうだいは、めいわくなビーおばさんにうんざりしていた。

ある日、おばさんの思いつきで、海へ行くことになった。でも、人の多い海がきれいなおばさんは、どんどん歩いていき、とうとう「立入禁止」の島に入ってしまう。すると、島がおこりだして…。



『マウスさん一家とライオン』

ジェームズ・ドーハティ 作
安藤 紀子 訳
ロクリン社



マウスさん一家は、森へピクニックに行きました。末っ子のチェダーが、眠っているライオンを起こし、おこらせてしまいます。ライオンは、こんかいだけはとみのがしてくれました。

そのあと、森のおくへいったライオンは、人間のわなにかかっています…。

『江戸のお店屋さん』

藤川 智子 作
ほるぷ出版



江戸時代の大通りには、けしょうひんや髪ざりを売る「小間物屋」、羊羹や饅頭を売る「菓子屋」など、いろいろな店があります。商品をかたいで売り歩く、「ぼてふり」とよばれる人もいます。

みなさんも、江戸の町にタイムスリップして、お買い物へでかけましょう。

『築づくりの名人 スズメバチ』

須田 貢正 さく+写真
六耀社



五月になると、女王バチは、たった一匹で巣づくりをし、卵を産み、そだてていきます。

やがて、はたらきバチに成長し、はたらきバチは巣をどんどん大きくします。

スズメバチの様子が大きな写真で楽しめます。

『おしろのばん人とガレスピー』

ベンジャミン・エルキン ぶん
小宮 由 やく
大日本図書

あるくにで、せかいじゅうのだれよりも目がいい三人のきょうだいがおしろのばん人になりました。王さまは「彼らをだませたものには金のメダルをおくろう」といいました。

いばって、わらわなくなったばん人を見て、ガレスピーはあることを思いつきます。

